

## おはなしだより 5月

### <年長>

かっぱの こいのぼり

内田 麟太郎 作

山本 孝 絵

岩崎書店

ここは いよのくに、まつやまは かっぱまちです。  
名物 ぼっちゃん電車とじょうちゃん電車がすれ違  
います。

みんなは どころなく浮き浮きしています。

いったい 何が始まるのでしょうか？



じゅっぴきて ござる

エクトル・シエラ 作

高畠 純 絵

佼成出版社

さるがじゅっぴき、遊んでいたでござる。

いっぴきざるそばを食べすぎ、きゅうひきでござる。

いっぴきバナナをあさる。はっぴきでござる。

どんだんさるは減って行って…!?

### <年中>

14ひきの ぴくにつく

いわむら かずお 作/絵

童心社

春です。おべんとうを作って、みんなで野原へピク  
ニックに出発。

おひさまぼかぼか、花もいっぱい。



どうぶつさかさま なあに

織田 道代 作  
竹内 通雅 絵  
すずき出版

ねこのさかさま…「こね」。くまのさかさま…「まく」。  
動物たちを逆さまにすると、違う言葉になって新たなイメージを持って立ち上がってきます。

動物たちをさかさまにしたら、新しいことばが出現！？  
ラストでは、わにの庭に登場した動物たちが集まっています。

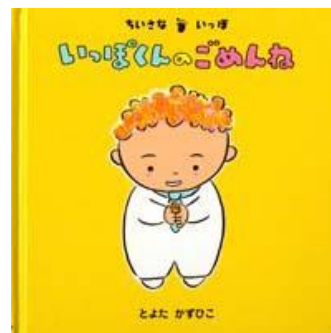
<年少>

いっぼくんの ごめんね

とよた かずひこ 作/絵  
ポプラ社

いっぼくんが、れおくんとけんかをしてしまいました。

「ごめんね」って、なかなかおたがい言い出せません。



かく かく しかく

得田 之久 文  
織茂 恭子 絵  
童心社

いろいろな色のしかくがうごきだしたら、あれあれ、  
ロボットになった！ いぬになった！

いろいろな色のしかくが何になるか、わくわくします。

<年長・年中・年少>

防災教育紙芝居

じしんのときの おやくそく

わたなべ もも 文  
よこた だいすけ 絵  
ベネッセこども基金

しまじろうとおかあさんの、地震の時のお約束は、  
「あおにんじゃ」と「お迎えに行くまで待っている」  
こと。「あおにんじゃ」とは、「あ」頭を隠す、「お」  
お口にチャック、「にんじゃ」にんじゃ歩きです。

